

# 2010年5月期第2四半期 (2009年6月～11月期) 決算説明会

2010年1月20日



本資料で示されてる将来予想及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が分析を行い判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。その為、様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

# 経営上の重要な契約等①

## (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社との販売提携契約)

- ・ 契約日 : 2009年8月19日
- ・ 契約期間 : 2010年1月1日から2012年6月30日
- ・ 内容 : 販売契約
- ・ 特記 : 本契約期間終了時点で発生が予想される同社製商品及び医療工具等の売却損失見積もり相当額3,500百万円をたな卸資産から評価減し特別損失へ計上。  
当該損失計上の結果、現在当社が保有している同社製商品及び医療工具等に関して、将来発生する可能性のある損失を概ね解消出来ると見込む。

## (株式会社オーミックとの販売提携契約)

- ・ 契約日 : 2009年8月20日
- ・ 契約期間 : 2010年1月1日から2015年12月31日
- ・ 内容 : 大腿骨近位部骨折用髓内釘関連商品の販売契約

# 経営上の重要な契約等②

## （ジンマー株式会社との共同販売提携契約）

- ・ 契約日 : 2009年11月30日
- ・ 契約期間 : 2009年12月1日から2014年11月30日
- ・ 内容 : 脊椎固定器具製品の共同販売契約
- ・ 特記 : 下期において薬事権の承継等に伴う譲渡益 2 億円を特別利益へ計上する見込み。

## （日本メディカルマテリアル株式会社とのOEM契約）

- ・ 契約日 : 2009年12月15日
- ・ 契約期間 : 2009年12月15日から2012年12月14日
- ・ 内容 : 国内向け人工股関節製品製造契約（OEM契約）
- ・ 特記 : 現在取り扱い中の同社製商品及び医療工具等の将来予想される除売却損失見積り相当額をたな卸資産評価損240百万円、固定資産除却損10百万円として計上。

# 連結決算結果（2009年6月～11月期）

## 連結損益計算書

（単位：百万円、％）

	2009年11月期		前期 増減率	2008年11月期	
	実績	売上比		実績	売上比
売上高	4,782	100.0	△ 7.4	5,164	100.0
売上原価	1,732	36.2	△ 15.1	2,040	39.5
売上総利益	3,049	63.8	△ 2.4	3,124	60.5
販売管理費	2,647	55.4	△ 13.0	3,042	58.9
営業利益	401	8.4	392.8	81	1.6
営業外損益	△ 349	△ 7.3	-	△ 133	△ 2.6
経常利益	52	1.1	黒字転換	△ 51	△ 1.0
特別損益	△ 3,786	△ 79.2	-	△ 117	△ 2.3
当期純利益	△ 2,731	△ 57.1	-	△ 259	△ 5.0

# 連結決算結果（2009年6月～11月期）

## 製品別売上高

（単位：百万円、％）

	2009年11月期		2008年11月期
	実績	増減率	実績
骨接合材料	1,983	△ 14.6	2,321
人工関節 計	1,881	△ 0.0	1,881
ODEV社製国内販売 ※	1,019	12.7	905
日本メディカルマテリアル社製国内販売	396	△ 7.7	429
ODEV社製北米販売 ※	465	△ 15.0	547
脊椎固定器具 計	511	△ 8.6	560
ODEV社製国内販売 ※	16	△ 17.7	20
Zimmer社製国内販売	292	2.9	284
その他国内販売	9	68.1	5
ODEV社製北米販売 ※	192	△ 22.7	249
その他 計	405	1.0	401
その他の整形外科用商品	375	5.2	356
ICU・手術室用機器	24	△ 20.0	30
その他自社製品 ※	3	△ 49.6	6
その他自社製品北米販売 ※	2	△ 66.4	7
合計	4,782	△ 7.4	5,164
自社製品売上高（※）	1,701	△ 2.0	1,736
自社製品比率	35.6		33.6

# 連結決算結果（2009年6月～11月期）

## 販売費及び一般管理費

（単位：百万円、％）

	2009年11月期			主な増減要因
	実績	前期増減	前期増減率	
販売関係費	155	△ 29	△ 16.1	物流効率化により荷造運賃等削減
人件費	1,119	△ 41	△ 3.6	製品開発部門等人材強化を図りコスト増も、全体としては物流及び営業効率化により削減
一般経費	282	△ 3	△ 1.1	経費抑制継続により削減
設備費用	645	△ 209	△ 24.5	資産効率運用に伴う医療工具購入抑制等により償却費等削減
政策的費用	100	△ 41	△ 29.1	効果徹底追求により採用関係費、海外渡航費等削減
支払費用	271	△ 78	△ 22.5	ロイヤリティ&コミッション、各種事務手数料等削減
その他	72	8	13.4	物流拠点等移転関連費用の計上
計	2,647	△ 395	△ 13.0	低コスト経営体質への転換進む

# 連結決算結果（2009年6月～11月期）

## 営業外損益

営業外損益（純額）  $\Delta 133$ 百万円（前期）  $\Rightarrow$   $\Delta 349$ 百万円（当期）

- ・ 有利子負債削減に伴う支払利息の減少  $\Delta 128$ 百万円  $\Rightarrow$   $\Delta 77$ 百万円（51百万円改善）
- ・ 急激な円高進行に伴う子会社ODEV社宛  
外貨建て貸付金の換算により生じた  
為替評価損を主とした為替差損(+益)の計上  $+1$ 百万円  $\Rightarrow$   $\Delta 235$ 百万円

## 特別損益

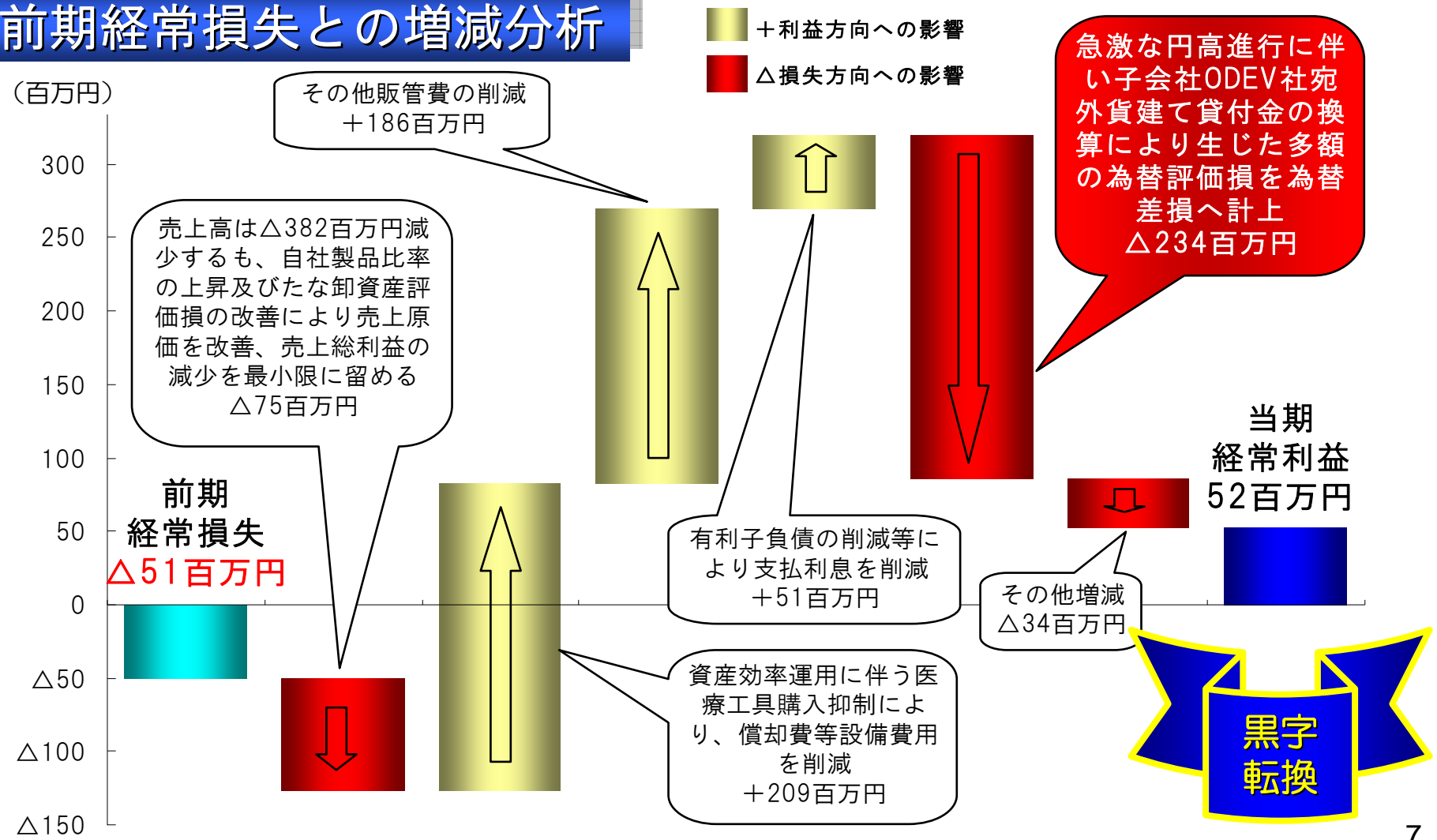
特別損益（純額）  $\Delta 117$ 百万円（前期）  $\Rightarrow$   $\Delta 3,786$ 百万円（当期）

- ・ たな卸資産評価損の計上  $\Delta 3,740$ 百万円（当期）

（前期、薬事権継承譲渡益+22百万円、資本業務提携関連費用 $\Delta 99$ 百万円 等）

# 連結決算結果（2009年6月～11月期）

## 前期経常損失との増減分析





# 連結決算予想（2010年5月期）

## 連結決算予想

（単位：百万円、％）

	2010年5月期		増減率	2009年5月期	
	予想	売上比		実績	売上比
売上高	10,120	100.0	△ 2.6	10,394	100.0
売上原価	3,870	38.2	△ 7.6	4,186	40.3
売上総利益	6,250	61.8	0.7	6,208	59.7
販売管理費	5,400	53.4	△ 7.8	5,856	56.3
営業利益	850	8.4	141.6	351	3.4
営業外損益	△ 240	△ 2.4	-	△ 295	△ 2.8
経常利益	610	6.0	975.4	56	0.5
特別損益	△ 3,680	△ 36.4	-	△ 181	△ 1.8
当期純利益	△ 2,310	△ 22.8	-	△ 226	△ 2.2

# 新商品OMフェモラルネイル紹介

## OM FEMORAL NAIL SYSTEM 『Advanced Fixation』

ロケット部品製造技術を Medical Implant へ

Made in Japan ならではの  
細部にこだわった  
Instruments

市場のトレンドに  
マッチした製品

独創的デザインと機能を有した  
ターゲティングデバイスをはじめ  
日本人向けに Down Sizing された  
機械セット

ロケット部品製造技術に定評のあるオーミック社が開発  
【オーミック社の概要】

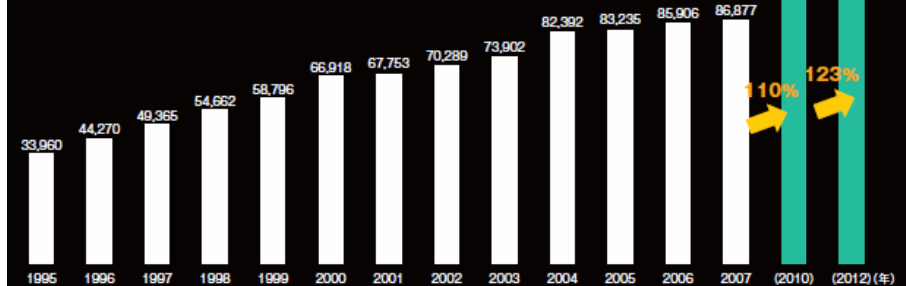
事業内容	医療器械・インプラント製品 原子力・宇宙開発等に關する産業用機器部品 半導体実験装置部品 光通信部品
名称	株式会社オーミック
所在地	本社工場：滋賀県栗東市辻600-1 東京事務所：東京都千代田区神田練馬町3-15-1903
設立	昭和47(1972)年2月
従業員	32名



## 骨接合材料の市場環境

骨接合材料の市場規模は、償還価格の下落、多発外傷の減少をうけて横ばい傾向が続くと予想されますが、一方、2005年から2025年までに老年人口は急激に増加し、2043年にはピークに達する予想となっています。高齢者に多く見られる大腿骨近位部骨折は、2008年度約120億円の市場規模となっており、骨接合材料の市場の中で今後も10%以上の成長が見込まれ、2025年に向け拡大すると予想されます。

### ●大腿骨近位部骨折の症例数推移



### 【新商品の概要】

OM FEMORAL NAIL (フェモラルネイル) は、大腿骨近位部骨折をターゲットとした「日本人向けに日本で開発された商品」。日本人の小柄な体型に合わせてコンパクトに作製された手術器械で、患者様への手術のあらゆる負担を最小限に抑えられる商品です。同商品はオーミック社が開発した骨接合材料であり、2009年8月に締結したオーミック社との販売提携契約に基づき、2010年1月8日より販売を開始しております。

# <参考情報>

## 設備投資等の推移表

(単位：百万円)

		2004/5	2005/5	2006/5	2007/5	2008/5	2009/5	2010/5 (予)
設備投資	MDM	1,323	1,693	5,096	2,130	392	230	560
	ODEV	262	298	342	259	203	191	268
	連結消去	△ 176	△ 79	△ 307	△ 136	△ 37	△ 32	△ 29
	合計	1,409	1,912	5,131	2,254	558	389	799
減価償却費	MDM	802	904	1,880	2,269	1,803	1,227	875
	ODEV	176	213	256	284	250	222	268
	連結消去	△ 77	△ 105	△ 176	△ 178	△ 137	△ 98	△ 68
	合計	901	1,011	1,961	2,376	1,915	1,351	1,074
研究開発費		368	375	464	434	125	155	166